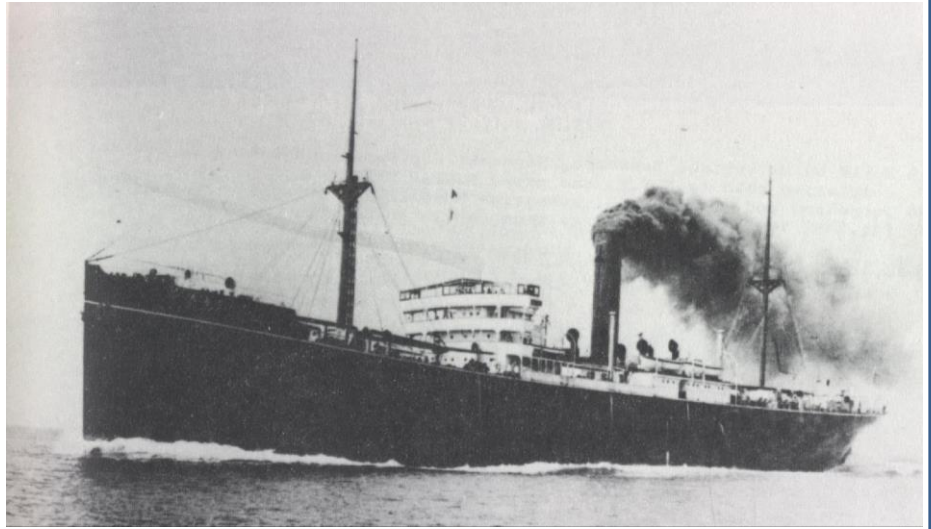


でらごあ丸

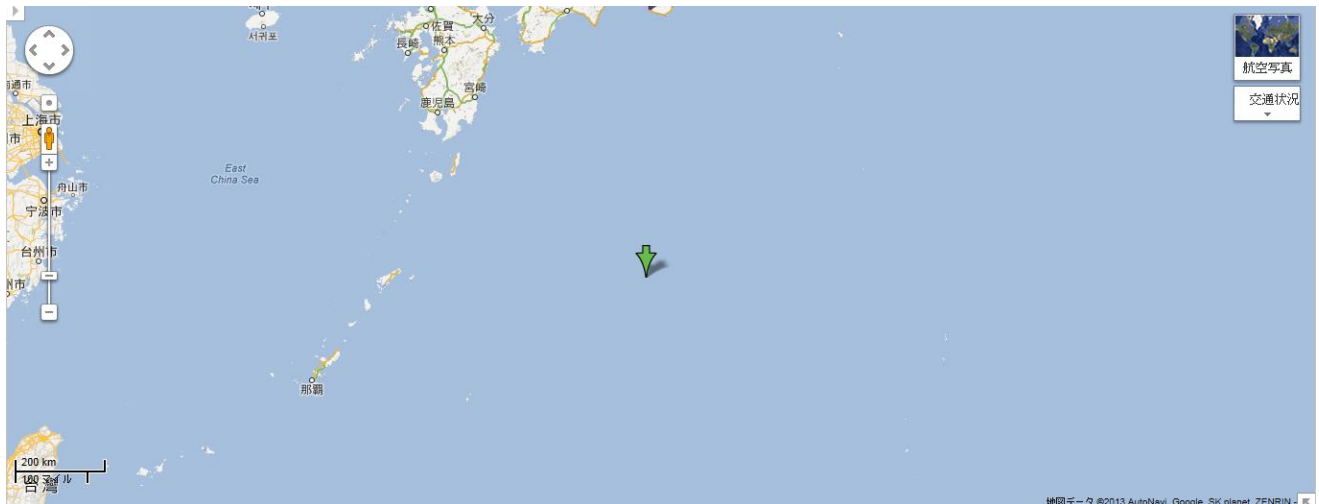
7148総トン 日本郵船

船影



海域図

緑の矢印は戦没位置を示す。 北緯28度20分、東経135度20分



経緯

昭和18年10月31日06:00才112船団として僚船11隻、護衛7隻で佐伯発、パラオ向け航行中、11月2日00:30頃より敵潜の攻撃をうけ独航で避退中、02:20頃北緯28度20分、東経135度20分(都井岬南東540km付近)において米潜水艦(SS-237 Trigger)からの魚雷を右舷三番艙にうけ、続く第二弾が船首に命中し

02:30頃沈没、当時暗夜と寒冷のため遭難者の多数が戦死した。

乗船部隊は第二四八飛行戦隊、航空関係軍属で生還者は12名。

船砲隊7名、船員69名戦死確認。その後軍属約100名が宮崎県に漂着。



備考： 大正8年1月 三菱・長崎造船所 進水

[戦没した船と海員の資料館]